

# 2015年度 卒業生アンケート調査結果

FD委員会/IRセンター

## 【Ⅰ. 調査の概要】

1. 調査対象 東北福祉大学を卒業した通学の正科生
2. 調査期間および方法 2015年8月～10月に実施。東北福祉大学の同窓会ホームページ等で調査への協力の呼びかけを行った上で、Googleのサービスを利用しインターネット上でアンケートの回答を行ってもらった。
3. 回答人数 214名から回答が得られた。

## 【Ⅱ. 結果】

### 1. 回答者の基本属性

#### 1) 回答者の性別と年代など

回答者の性別と年代、入学の際の入試形態と卒業時の所属学科を表1～4に示した。性別に関しては男女の人数に大きな違いは見られなかった。また年齢に関しては20歳代が最も多く、70歳代以上は1名もいなかった。

表1 回答者の性別

	度数	%
男	116	54.2
女	98	45.8
合計	214	100.0

表2 回答者の年齢

	度数	%
20歳代	77	36.0
30歳代	58	27.1
40歳代	30	14.0
50歳代	42	19.6
60歳代	7	3.3
合計	214	100.0

表3 入学の際の入試形態

	度数	%
AO入試	16	7.5
推薦入試	88	41.3
一般入試	99	46.5
センター試験利用	1	.5
学士入学・編入学	9	4.2
合計	213	100.0

表4 卒業時の所属学科

	度数	%
社会福祉学科	88	41.1
社会教育学科	47	22.0
福祉心理学科	34	15.9
産業福祉学科・産業福祉マネジメント学科	22	10.3
情報福祉学科・情報福祉マネジメント学科	5	2.3
子ども教育学科	11	5.1
保健看護学科	5	2.3
リハビリテーション学科	1	0.5
医療経営管理学科	1	0.5
合計	214	100.0

## 2) 回答者の現在の職業など

現在の職業等に関する回答を表5に、さらに、「社会福祉施設」と回答した者についてはその施設の種類を表6に示した。現在の職業等については、「社会福祉施設」と回答した者が最も多く、その半数以上が「老人福祉（保健）施設」で勤務していた。

	度数	%
社会福祉施設	55	25.7
公務員・団体	34	15.9
企業	32	15.0
保健医療	25	11.7
教員	27	12.6
自営業	4	1.9
専業主婦	4	1.9
学校等在学中	4	1.9
その他	29	13.6
合計	214	100.0

	度数	%
老人福祉（保健）施設	32	58.2
障害者支援施設	11	20.0
保育所	4	7.3
児童福祉施設（保育所除）	4	7.3
その他	4	7.3
合計	55	100.0

## 2. 回答者の在学中の学びや経験

### 1) 在学中の経験

在学中の経験について、「部・サークル活動の所属」「ボランティア活動の経験」「国際交流の経験」「インターンシップの経験」「アルバイトの経験」「在学中に大学での学習を通して取得した資格・免許」それぞれについて経験の有無を尋ねた。経験ありと回答された割合を表7に示した。「インターンシップ」や「国際交流」を経験した者がどちらも10%に満たなかったのに対して、その他の経験はいずれも70%以上の者が経験していた。

	経験あり	度数	%
アルバイト	経験あり	200	93.5
部・サークル活動	経験あり	179	83.6
在学中の資格・免許取得	経験あり	166	77.6
ボランティア活動	経験あり	159	74.3
インターンシップ	経験あり	15	7.0
国際交流	経験あり	13	6.1

### 2) 在学中の施設の積極的利用

図書館、学習室、就職部、キャリアセンターといった学生生活や勉学をサポートする施設・設備を積極的に利用したかどうかについて4件法で尋ねた結果を表8に示した。さらに、評定値の平均を回答者の年代別に図1に示した。

回答者全体でみると、「ややそう思う」と答えたものが最も多く、「非常にそう思う」と合わせると60%以上の回答者が在学時に大学の施設や設備をある程度積極的に利用していた。

	度数	%
1. まったくそう思わない	14	6.6
2. あまりそう思わない	57	26.9
3. ややそう思う	88	41.5
4. 非常にそう思う	53	25.0
合計	212	100.0
平均：2.85 標準偏差：0.87		

た。また年代別にみると 20 歳代の回答者の評定値が最も高く、20 歳代の回答者は他の年代の回答者に比べて、在学中に大学の施設や設備をより積極的に利用していたことが示唆された。

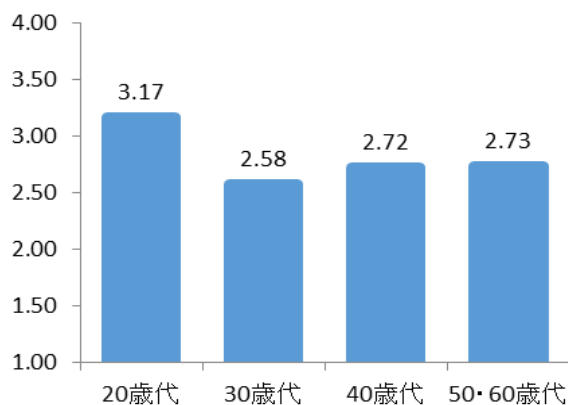


図1 在学中の施設の積極的利用の年代別結果

### 3) 在学中の学び

在学中の学びに関して、表9に示す幾つかの内容を示し、大学生活の中で身につけることができたと思返せるものを5つ以内で選ぶよう求めた。表9を見ると半数以上の回答者が、「チームワーク」「コミュニケーション能力」「専門的な知識」を選択していた。逆に「自然に関する知識」「数量的技能」「本学のキャリア教育の姿勢（自らかかわり、考え気づき、アクションを起こすこと）」「建学の精神と教育理念」「日本や世界の文化に関する知識」は10%未満であった。

表9 在学中の学び

〈学びの内容〉	度数	%
チームワーク	132	61.7
コミュニケーション技能	120	56.1
専門的な知識	110	51.4
人間力や社会力を身に付け、 人とのつながりや人脈をえること	94	43.9
社会に関する知識	83	38.8
自己管理能力	80	37.4
問題解決能力	53	24.8
専門職業人としての倫理観	43	20.1
専門的な技術や技能	41	19.2
統合的な学習経験と創造的思考力	24	11.2
日本や世界の文化に関する知識	20	9.3
建学の精神と教育理念	20	9.3
本学のキャリア教育	11	5.1
数量的技能	9	4.2
自然に関する知識	4	1.9

### 4) 在学中の満足度

在学中の満足度に関して、「教育内容・方法」「学生生活に対する支援」「資格取得・就職支援・キャリア形成支援」「学生生活や勉学をサポートする施設・設備」「卒業後の支援」それぞれに関して「1. 非常に不満」～「4. 非常に満足」の4件法で回答を求めた。その結果を表10に、各評定値の評定平均値を図2に示した。どの内容に関しても「やや満足」の回答が最も多く、「非常に満足」「やや満足」に回答した割合は「教育内容・方法」で80%を超え、「卒業後の支援」を除いてすべて60%を超えていた。評定平均値に関しても「教育内容・方法」が最も高く(3.11)、「卒業後の支援」(2.50)が最も低い値を示した。

表 10 在学中の満足度

	教育内容・方法		学生生活に対する支援		資格取得・就職支援・キャリア形成支援		施設・設備		卒業後の支援	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
非常に不満	4	1.9	9	4.2	14	6.6	11	5.1	23	11.1
やや不満	31	14.5	44	20.6	53	24.9	56	26.2	76	36.5
やや満足	116	54.2	117	54.7	107	50.0	114	53.3	90	43.3
非常に満足	63	29.4	44	20.6	39	18.3	33	15.4	19	9.1
	214	100.0	214	100.0	213	100	214	100.0	208	100

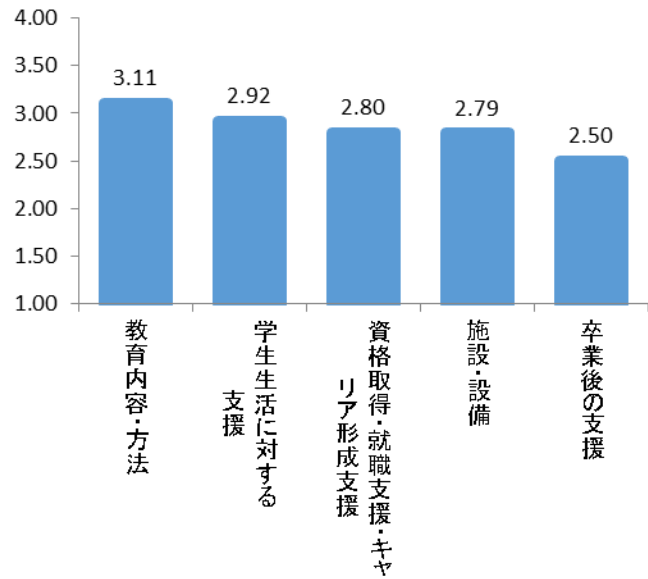


図2 在学中の満足度の評定平均値

### 3. 回答者の調査時の大学に対する思いについて

回答者の調査時の大学に対する思いについて、「身近に、私立大学への進学を希望する者がいる場合、東北福祉大学を勧めたいと思いますか?」「東北福祉大学に在学したことを誇りに思いますか?」「大学で得た知識や経験は、その後の人生に役立っていますか?」「大学で得た人とのつながりや人脈は、その後の人生に役立っていますか?」という4つの質問について「1. まったくそう思わない」～「非常にそう思う」の4件法で回答を求めた。その結果を表11～14に示した。「ややそう思う」「非常にそう思う」のいずれかに回答した割合はすべての質問で80%を超え、評定平均値も3を超える結果となった。回答者においては、卒業後も東北福祉大学に対して良い印象が持たれる傾向にあったと言えよう。

表 11 東北福祉大学を勧めたいと思うか?

	度数	%
1. まったくそう思わない	3	1.4
2. あまりそう思わない	29	13.6
3. ややそう思う	113	52.8
4. 非常にそう思う	69	32.2
合計	214	100.0

平均:3.16 標準偏差:0.70

表 12 東北福祉大学に在学したことを誇りに思うか?

	度数	%
1. まったくそう思わない	2	.9
2. あまりそう思わない	25	11.7
3. ややそう思う	87	40.7
4. 非常にそう思う	99	46.3
合計	213	99.5

平均:3.33 標準偏差:0.72

表 13 東北福祉大学で得た知識や経験は、その後の人生に役立っているか?

	度数	%
1. まったくそう思わない	5	2.3
2. あまりそう思わない	19	8.9
3. ややそう思う	94	43.9
4. 非常にそう思う	94	43.9
合計	212	99.1

平均:3.31 標準偏差:0.73

表 14 東北福祉大学で得た人とのつながりや人脈は、その後の人生に役立っているか?

	度数	%
1. まったくそう思わない	7	3.3
2. あまりそう思わない	20	9.3
3. ややそう思う	91	42.5
4. 非常にそう思う	96	44.9
合計	214	100.0

平均:3.29 標準偏差:0.77

#### 〈在学中の経験との関連〉

在学中の各経験に関して経験ありと回答した者とそうでない者の調査時の思いの各項目の評定平均値を表15に示した。最も低い平均値でも2.93の値であり、在学中の各経験の有無にかかわらず、大学に対して比較的良い印象が持たれていたと考えられる。統計的な検定(t検定、有意水準を10%に設定)を行った結果、在学中に「ボランティア活動」を経験した者の方がそうでない者に比べて、調査時の思いに関するすべての項目の評定平均値が有意に高いことが明らかとなった。つまり、在学中にボランティア活動に経験した者の方がそうでない者に比べて卒業後も東北福祉大学に対してより良い印象が持つ傾向にあったと言えよう。

表 15 在学中の各経験の有無ごとの調査時の大学に対する思いの評定値

〈在学中の経験〉		勧めたいと思うか		在学を誇りに思うか		知識や経験は役立っているか		人脈は役立っているか	
		平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	平均値
部・サークル活動	経験あり	3.17	.685	3.34	.705	3.31	.744	3.30	.785
	経験なし	3.09	.781	3.26	.780	3.31	.676	3.23	.690
ボランティア活動	経験あり	<i>3.24</i>	<i>.679</i>	<i>3.40</i>	<i>.638</i>	<i>3.37</i>	<i>.690</i>	<i>3.35</i>	<i>.746</i>
	経験なし	<i>2.93</i>	<i>.716</i>	<i>3.13</i>	<i>.883</i>	<i>3.13</i>	<i>.825</i>	<i>3.13</i>	<i>.818</i>
国際交流	経験あり	3.38	.506	3.54	.519	3.23	.927	3.54	.519
	経験なし	3.14	.710	3.32	.727	3.31	.720	3.27	.781
インターンシップ	経験あり	3.33	.816	3.33	.816	3.53	.834	3.47	.743
	経験なし	3.15	.692	3.33	.711	3.29	.723	3.28	.771
アルバイト	経験あり	3.18	.683	3.35	.693	3.32	.709	3.28	.765
	経験なし	2.93	.917	3.07	.997	3.14	1.027	3.43	.852
在学中の資格・免許取得	経験あり	3.19	.678	3.36	.689	3.32	.700	3.32	.747
	経験なし	3.04	.771	3.23	.805	3.25	.838	3.19	.842

t検定 (p<.10) の結果、有意差が示されたものを斜線で示した。

### 〈在学中の施設の積極的利用との関連〉

在学中の施設の積極的利用や各満足度と調査時の大学に対する思いとの関連を検討するために、各評定値について相関分析を行った。表 16 にそれぞれの相関係数 (-1~1 の値で -1 や 1 に値が近いほどデータ上の強い関連を示す値) の値を示した。その結果、すべての組み合わせで統計的に有意な相関が明らかとなった。それぞれの相関係数の値に着目すると、「身近に、私立大学への進学を希望する者がいる場合、東北福祉大学を勧めたいと思いますか?」「東北福祉大学に在学したことを誇りに思いますか?」「大学で得た知識や経験は、その後の人生に役立っていますか?」と在学時の「教育内容・方法に対する満足度」との間で比較的高い値が示された。

表 16 在学時の施設の積極的利用や満足度と卒業後の思いとの関連

	施設の積極的利用	在学時					
		教育内容・方法	学生生活への支援	資格取得・就職支援	施設・設備	卒業後の支援	
調査時の思い	東北福祉大学を勧めたいと思うか?	.34	.61	.41	.40	.32	.40
	在学したことを誇りに思うか?	.28	.61	.39	.43	.30	.38
	知識や経験は、その後の人生に役立っているか?	.30	.56	.43	.43	.34	.38
	人脈は、その後の人生に役立っているか?	.28	.35	.42	.31	.33	.37

## 〈在学中の学びとの関連〉

「在学中の学び」に関するそれぞれの項目について大学生活の中で身につけることができたと思わせるものとして選択した者とそうでない者ごとに調査時の思いの各項目の評定平均値を表 17 に示した。両者の平均値の差について統計的な検定（t 検定、有意水準を 10% に設定）を行った。その結果、「身近に、私立大学への進学を希望する者がいる場合、

表 17 在学中の学びの各項目の選択・非選択ごとの調査時の大学に対する思いの評定値

〈在学中の学び〉		勧めたいと思うか		在学を誇りに思うか		知識や経験は役立っているか		人脈は役立っているか	
		平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD	平均値	SD
		日本や世界の文化に関する知識	選択	3.35	.587	3.55	.510	3.30	.733
	非選択	3.14	.710	3.31	.732	3.31	.734	3.31	.754
社会に関する知識	選択	3.20	.639	3.38	.641	3.30	.782	3.27	.766
	非選択	3.13	.738	3.30	.762	3.31	.703	3.31	.774
自然に関する知識	選択	3.25	.500	3.00	.816	2.75	.957	3.50	.577
	非選択	3.16	.705	3.33	.716	3.32	.726	3.29	.773
コミュニケーション技能	選択	<i>3.24</i>	<i>.661</i>	<i>3.47</i>	<i>.674</i>	<i>3.41</i>	<i>.682</i>	<i>3.48</i>	<i>.635</i>
	非選択	<i>3.05</i>	<i>.739</i>	<i>3.15</i>	<i>.733</i>	<i>3.17</i>	<i>.775</i>	<i>3.04</i>	<i>.854</i>
数量的技能	選択	<i>3.56</i>	<i>.527</i>	<i>3.78</i>	<i>.441</i>	<i>3.89</i>	<i>.333</i>	3.44	.882
	非選択	<i>3.14</i>	<i>.703</i>	<i>3.31</i>	<i>.721</i>	<i>3.28</i>	<i>.735</i>	3.28	.766
問題解決能力	選択	3.17	.643	3.40	.716	3.40	.743	3.30	.799
	非選択	3.16	.721	3.31	.718	3.28	.728	3.29	.762
自己管理能力	選択	3.19	.658	3.32	.651	3.29	.723	3.35	.713
	非選択	3.14	.727	3.34	.755	3.31	.740	3.25	.801
チームワーク	選択	3.20	.707	3.38	.739	<i>3.38</i>	<i>.685</i>	<i>3.39</i>	<i>.674</i>
	非選択	3.09	.689	3.24	.677	<i>3.20</i>	<i>.793</i>	<i>3.12</i>	<i>.880</i>
統合的な学習経験と創造的思考力	選択	<i>3.42</i>	<i>.504</i>	<i>3.67</i>	<i>.482</i>	<i>3.63</i>	<i>.495</i>	3.42	.830
	非選択	<i>3.13</i>	<i>.713</i>	<i>3.29</i>	<i>.727</i>	<i>3.28</i>	<i>.732</i>	3.29	.746
専門的な知識	選択	3.18	.638	3.35	.629	3.38	.620	3.31	.701
	非選択	3.13	.764	3.30	.802	3.23	.831	3.27	.839
専門的な技術や技能	選択	<i>3.34</i>	<i>.656</i>	3.49	.637	3.46	.552	3.32	.756
	非選択	<i>3.12</i>	<i>.706</i>	3.29	.731	3.27	.766	3.28	.774
専門職業人としての倫理観	選択	3.19	.699	3.44	.590	<i>3.49</i>	<i>.592</i>	3.14	.861
	非選択	3.15	.703	3.30	.745	<i>3.26</i>	<i>.758</i>	3.33	.742
建学の精神と教育理念	選択	3.40	.598	3.55	.686	<i>3.60</i>	<i>.503</i>	3.45	.605
	非選択	3.13	.707	3.31	.718	<i>3.28</i>	<i>.746</i>	3.27	.784
人間力や社会力を身に付け、人とのつながりや人脈を得る	選択	<i>3.30</i>	<i>.669</i>	<i>3.51</i>	<i>.670</i>	3.39	.723	<i>3.52</i>	<i>.699</i>
	非選択	<i>3.05</i>	<i>.708</i>	<i>3.19</i>	<i>.725</i>	3.24	.736	<i>3.11</i>	<i>.776</i>
本学のキャリア教育	選択	<i>3.64</i>	<i>.505</i>	3.64	.505	3.55	.820	3.18	1.250
	非選択	<i>3.13</i>	<i>.702</i>	3.31	.724	3.29	.727	3.30	.739

t 検定 (p<.10) の結果、有意差が示されたものを斜線で示した。

東北福祉大学を勧めたいと思いますか？」に関しては、「在学中の学び」としてそれぞれ「コミュニケーション技能」「数量的技能」「統合的な学習経験と創造的思考力」「専門的な技術や技能」「人間力や社会力を身に付け、人とのつながりや人脈を得る」「本学のキャリア教育」を選択したの方がそうでない者に比べて、「東北福祉大学に在学したことを誇りに思いますか？」に関しては「コミュニケーション技能」「数量的技能」「統合的な学習経験と創造的思考力」「人間力や社会力を身に付け、人とのつながりや人脈を得る」を選択したの方がそうでない者に比べて、「大学で得た知識や経験は、その後の人生に役立っていますか？」に関しては「コミュニケーション技能」「数量的技能」「チームワーク」「統合的な学習経験と創造的思考力」「専門職業人としての倫理観」「建学の精神と教育理念」を選択したの方がそうでない者に比べて、「大学で得た人とのつながりや人脈は、その後の人生に役立っていますか？」に関しては「コミュニケーション技能」「チームワーク」「人間力や社会力を身に付け、人とのつながりや人脈を得る」を選択したの方がそうでない者に比べて、評定平均値が有意に高いことが明らかとなった。

---



#### 4. 現在大切にしていること

表 18 に示す東北福祉大学の人材育成の目標となっている項目を示し、回答者が「現在大切にしていること」・「価値をおいて取り組んでいること」を5つ以内で選ぶよう求めた。さらには、そのような思いを形成する上で東北福祉大学での学びや経験がどの程度役立ったかを「1.まったく役立たなかった」～「4.非常に役立った」の4件法で回答するよう求めた(表 19)。表 18 を見ると半数以上の回答者が、「社会の中で自分の役割を果たす」「自分らしい生き方の実現」を選んでいった。逆に「国際社会の発展」を選んだものは4.2%と比較的少なかった。また大学での学びや経験が「非常に役立った」もしくは「少し役立った」と回答した人が9割を超え、評定平均値も3.3と高い値を示した。

表 18 現在大切にしていること、価値をおいて取り組んでいること

	度数	%
社会の中で自分の役割を果たす	129	60.3
自分らしい生き方の実現	125	58.4
資質・能力・技術の向上	102	47.7
人々の幸せ	87	40.7
社会の一員としての意識	82	38.3
自己の人格を磨く	81	37.9
自ら学習する	80	37.4
社会的・職業的自立	70	32.7
地域社会の発展	66	30.8
国際社会の発展	9	4.2

表 19 東北福祉大学での学びや経験がどの程度役立ったか？

	度数	%
1.まったく役立たなかった	3	1.4
2.あまり役立たなかった	11	5.2
3.少し役立った	118	55.7
4.非常に役立った	80	37.7
合計	212	100.0

平均：3.30 標準偏差：0.63

#### 〈在学中の経験との関連〉

回答者の現在の指針を形成する上で東北福祉大学での学びや経験がどの程度役立ったかに関する評定平均値を在学時の各経験の有無別にまとめたものを表 20 に示した。統計的な検定(t検定、有意水準を10%に設定)を行った結果、すべての経験において有意差は明らかとならなかった。つまり、今回の調査で取り上げた大学での各経験が回答者の現在の指針形成に及ぼす影響は明らかとならなかった。

表 20 在学中の各経験の有無ごとの「どの程度役立ったか」に対する評定値

	在学時の経験											
	部・サークル活動		ボランティア活動		国際交流		インターンシップ		アルバイト		資格・免許取得	
	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD
経験あり	3.29	.65	3.34	.60	3.46	.52	3.33	.62	3.31	.61	3.32	.62
経験なし	3.31	.53	3.19	.70	3.29	.64	3.29	.64	3.14	.86	3.21	.69

## 〈在学中の学びとの関連〉

「在学中の学び」に関するそれぞれの項目について大学生活の中で身につけることができたと思わせるものとして選択した者とそうでない者ごとに、回答者の現在の指針を形成する上で東北福祉大学での学びや経験がどの程度役立ったかに関する評定平均値を表21に示した。両者の平均値の差について統計的な検定（t検定、有意水準を10%に設定）を行った結果、大学生活の中で身に付けるものことができたものとしてそれぞれ「コミュニケーション技能」「数量的技能」「チームワーク」「統合的な学習経験と創造的思考力」「専門職業人としての倫理観」「建学の精神と教育理念」「人間力や社会力を身に付け、人とのつながりや人脈を得る」を選択した者の方がそうでない者に比べて評定平均値が有意に高かった。つまり、大学でのこれらの内容の習得が回答者の現在の指針形成に促進的に影響を及ぼす傾向にあることが示唆された。

表21 在学中の学びの各項目の選択・非選択ごとの「どの程度役立ったか」に対する評定値

在学中の学び										
	日本や世界の文化に関する知識		社会に関する知識		自然に関する知識		コミュニケーション技能		数量的技能	
	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD
選択	3.5	.51	3.38	.56	3.25	.50	<i>3.42</i>	<i>.54</i>	<i>3.67</i>	<i>.50</i>
非選択	3.28	.64	3.25	.67	3.3	0.64	<i>3.15</i>	<i>.70</i>	<i>3.28</i>	<i>.63</i>

在学中の学び										
	問題解決能力		自己管理能力		チームワーク		統合的な学習経験と創造的思考力		専門的な知識	
	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD
選択	3.38	.66	3.35	.60	<i>3.36</i>	<i>.58</i>	<i>3.63</i>	<i>.50</i>	3.28	.54
非選択	3.27	.62	3.27	0.65	<i>3.2</i>	<i>.70</i>	<i>3.27</i>	<i>.62</i>	3.31	.72

在学中の学び										
	専門的な技術や技能		専門職業人としての倫理観		建学の精神と教育理念		人間力や社会力を身に付け、人とのつながりや人脈を得る		本学のキャリア教育	
	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD
選択	3.39	.54	<i>3.55</i>	<i>.55</i>	<i>3.55</i>	<i>.61</i>	<i>3.40</i>	<i>.63</i>	3.36	.81
非選択	3.27	.65	<i>3.24</i>	<i>.64</i>	<i>3.27</i>	<i>.63</i>	<i>3.22</i>	<i>.63</i>	3.29	.62

t検定（ $p < .10$ ）の結果、有意差が示されたものを斜線で示した。